

## 松下に 負けるな一太郎 ここにあり

~ジャストシステム敗訴に思うこと~

### 松下幸之助翁を大変尊敬しています

私は、故松下幸之助氏を大変尊敬しています。

本は何冊も持っていますし、今でもたまに読み返しています。

松下幸之助氏が言った中では、「無税国家論」が一番好きで、友人の市議会議員と会ったりすると、この話をします。国家は無理でも、市のレベルで出来ないか？と話すのです。

「無税国家論」とは、毎年収入の1割を国が貯金していけば、100年後にはその貯金の利子だけで国の収入をまかなえ、国民から税金を取る必要がなくなるのではないか、という松下幸之助氏のアイデアです。

### 一太郎製造販売の停止の判決

国産ワープロソフト「一太郎」が松下の特許を侵害していると判断され、製造販売停止の判決を受けました。詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

### 松下は弱いものいじめが好き？

上記の記事を読んでいると、松下は弱いものいじめが好きなのか？と、松下幸之助ファンの私は暗澹たる気持ちになります。

そして、[こちらの記事](#)には、松下の意図が見えない、とあります。

この記事のインタビューで松下が答えているように、メリットがないのに、このような訴訟を起こしたのだとしたら、私はさらに暗澹たる気持ちになります。

損害賠償を請求しているなら、お金で解決しよう、という姿勢が見られるわけですが、松下は損害賠償を請求していません。

また、一太郎に対抗する製品を持っていて、販売停止を求めたのではないのです。

一太郎が販売停止になれば、ジャストシステムは間違いなくつぶれるでしょう。

松下が求めたのは、そういうことにならないでしょうか。

### 一太郎ユーザーに戻ります

いまや、国産ワープロは一太郎だけと言っても過言ではありません。

日本語で文章を作るためのソフトが外国製ばかりでいいのでしょうか？

私は、一太郎には大変お世話になりましたが、Windowsの登場とともに疎遠になっていました。これを機会に一太郎ユーザーに戻りたいと思います。(ただし、この原稿はWordです)

松下の担当者が、直接的なメリットはない、とおっしゃったそうですが、松下の人気だけは、確実に下がったと言えるのではないのでしょうか。

一部には、松下はマイクロソフトに忠誠を示したのだ、という声も聞かれます。Windowsの最新版が松下にだけ提供されたりしないことを祈ります。

大松下には日本を代表する企業であってほしいと思います。

(冒頭の句をご存知のように小林一茶の句をもじったものです。もじり方が今ひとつなのは承知の上です。本来は、「一太郎 負けるな XXここにあり」ですね。)